

1. 資料選択に関する危惧

- 『絶歌』の選択理由に見る脆弱さ
 - 資料選択のポピュリズム
 - 首長と図書館
- 収集の「自由」
 - 提供の自由
 - 資料選択と裁量
- 「悩ましい本」に対する苦悩
 - 図書館員のインタビュー調査から

2. 可視化される資料選択

- 全点所蔵検索の可能性
 - 横断検索
- 集合としての公共図書館による資料選択
 - 大学図書館, 出版状況との比較
 - 公共図書館は, 「金太郎飴」のような蔵書構成なのか

- 「公平・中立」な資料選択
 - 意見の対立がある資料の所蔵をどう考えるのか
 - 意見のあり方によるのか？ 出版のあり方によるのか？

- 「合理性」と資料選択
 - 科学的合理性に問題がある資料をどう考えるか

- 「下らない」本の資料選択
 - スタンダードもリテラシーもない資料の選択：ライトノベル
 - Cool ではないクールジャパンな資料の取り扱い：マンガ

3. 今後の資料選択

- 「選択」に対するスタンスの保持

- 資料選択の透明化